

自由民主党
団体総局厚生関係団体委員会・厚生労働部会
「予算・税制等に関する政策懇談会」
ヒアリング

令和7年11月
日本薬剤師会



要望

～ 薬剤師・薬局が、国民・患者に安全で安心な薬物治療を
安定して提供していくために～

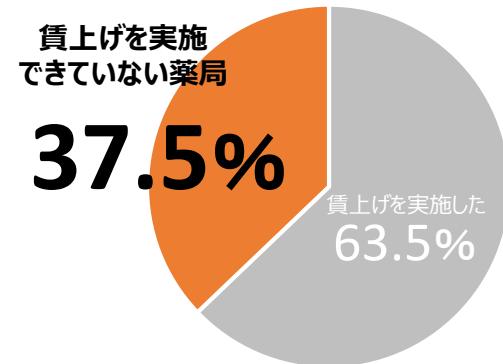
1. 物価高等の影響を受け、薬局経営は大変厳しい状況が続いています。地域医療の中で薬物治療ならびに医薬品提供の責務を担う薬局が、従業員の賃上げ・物価高等に対応することができるよう、①令和7年度補正予算による補助金措置等の早期実施、②令和8年度予算編成における診療(調剤)報酬等による十分かつ確実な対応をお願いします。
2. 薬価改定の都度発生する薬局・医療機関の備蓄医薬品の資産価値の減少は、薬局の安定運営、従業員の処遇改善の実現等(他産業への人材流出の問題を含む)にも多大な影響を及ぼしています。また、製薬企業による医薬品供給も依然として不安定な状況が続いています。
薬価改定による資産の目減りに対する一定の補填または税制措置等とともに、医薬品の安定供給確保のための予算確保をお願いします。
3. OTC類似薬の保険給付や後発医薬品の普及促進に係る加算の見直しなど、強引な制度変更もしくは費用削減のみを目的とする対応は、薬局現場の混乱を招くだけでなく、患者が不利益を被ることに繋がることから容認できません。検討にあたっては、慎重な対応が不可欠です。

令和7年 賃上げ・物価高の対応状況等に関する結果(概要)

- 薬局の従業員の賃上げは、37.5%の施設で実施できていない状況。
- ほぼ全ての薬局が物価高の影響を受けていると回答。主に物価高の影響を受けているものとして、「調剤で使用する消耗品」「水道・光熱費」「委託費」があげられた。
- 薬局経営は8割の施設で悪化しており、1年後については9割の施設が「悪くなる」と見込んでいる。

令和7年度の賃上げ状況

N=534

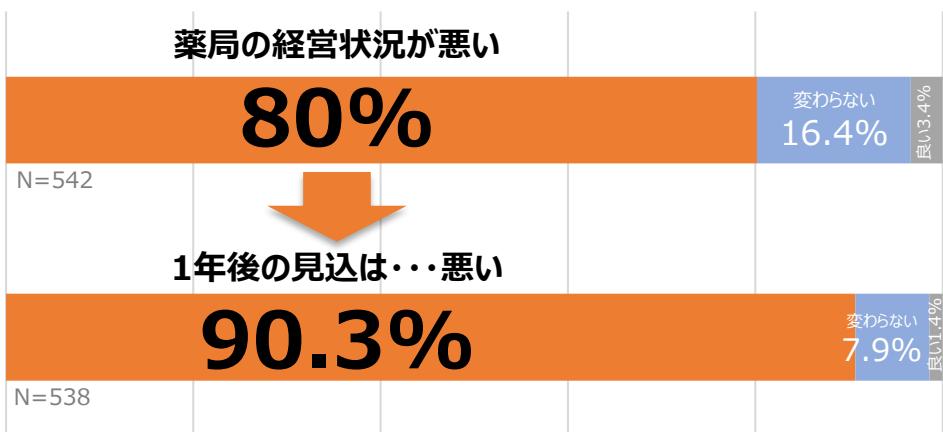


物価高の影響

N=497



令和7年度の経営状況と1年後の見込



物価高の影響を受けている主なもの

